

平成 28 年度 行政経営方針のポイント

1 基本的な考え方

(1) 第六次総合計画改訂版の推進

- 超高齢社会と人口減少社会が現実のものとなり、多様化・高度化する行政課題への的確な対応が迫られている。
- 計画期間 4 年目となる平成 28 年度は、計画期間の最終年度を見据え、総合計画に位置づけた事業を積極的に展開するとともに、人口減少の克服と地域の活性化に向けて、地方創生の取り組みを進めることが求められる。

(2) 市政運営における重点施策の検討

目指すべき将来都市像「生命都市いきいき前橋」の実現に向け、平成 28 年度における市政の重点施策を選定し、予算編成との連動を図ることで、「選択と集中」や「成果志向」の視点に立った先見性ある行政経営の仕組みを構築する。

2 平成 28 年度 行政経営方針

「住みやすさの実感」、「市民力と新たな枠組み」、「健康医療都市の推進」の 3 施策を重点施策に選定し、特に力点を置いて取り組む。

市民の英知とともに、豊かな暮らしを創造し、発信よう

重点施策 1

「住みやすさ」を実感できるまちづくりを進めます

- 前橋版総合戦略の推進による「人口減少対策の取り組み」
- 総合的な就労支援施設及びインキュベーション施設の設置による「就労・創業の支援」
- まちなか居住や空き家の利活用による近居など「移住・定住の促進」
- 「妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援」による子どもを産み育てる環境の整備
- 引きこもり対策の充実や特別支援教育の推進などによる「教育環境の充実」
- 地域公共交通ネットワークの再構築による「コンパクト・プラス・ネットワークの推進」

重点施策 2

「市民力と新たな枠組み」により、地域の活力を高めます

- 地域活動ポイント制度の全市域実施や歴史文化遺産の活用による「地域づくりの推進」
- 農畜産物の販路拡大や道の駅設置の推進による「地域経済の活性化」
- ごみの資源化推進や新エネルギー導入による「循環型社会の形成」
- マイナンバー制度の導入を契機とした「ICTを活用したまちづくり」の推進

重点施策 3

充実した医療環境を活かした「健康医療都市」を目指します

- データヘルス計画に基づく健康づくり事業の推進による「健康寿命の延伸」
- 「生涯活躍できるまちの実現」に向けた前橋版 C C R C 構想の推進
- 医療と介護の連携をはじめとする「地域包括ケアシステムの推進」
- ドクターカーの運用による「救急体制のさらなる充実」